

報時付掛時計 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1308)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

- ⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
- ①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

⚠ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない
必ず守る
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⊘ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止
禁止 止するために、次のことを守る

- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。

⊘ 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

●電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

⊘ 分解・改造をしない
故障の原因になります。
分解禁止

⊘ 落としたり、たいたりして衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
禁止

⊘ めれた手で触らない
故障や誤作動の原因になります。

⊘ 下記のような場所では使わない。
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。
禁止

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 温風器などの乾燥した風が当たる所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など振動の激しい所。
- プールや温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など、多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接接触させておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10℃～50℃ *結露しないこと		
時間精度	平均月差	±20秒	温度が5～35℃のとき
使用電池	報時用	：単1形マンガン乾電池	JIS規格 R20P 1.5V 2個
	時計用	：単3形マンガン乾電池	JIS規格 R6P 1.5V 1個
	振り子用	：単3形マンガン乾電池	JIS規格 R6P 1.5V 1個
電池寿命	約1年		
	*報時用の電池は音量最小で17回/日報時したとき		
報時機能	毎正時に1曲メロディを奏で飾りが回転する		
報時精度	毎正時に対して±1分以内		
報時音	電子音メロディ 12曲収録		
報時ON/OFF	スライドスイッチ		
音量調節	ロータリーボリューム		
暗所自動停止	明暗センサーにより暗所で報時を停止		
モニター機能	あり		
動き	回転飾りがメロディとともに一方方向に回る		
振り子	装飾用 常時揺れる		

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

単1形マンガン乾電池	2個	単3形マンガン乾電池	2個	木ねじ	1個
保証書	1枚	取扱説明書	本書		

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
(フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。

例 4MH○○○

Service and technical support for this product are available only within Japan.

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池を取り外してください。

お手入れについて

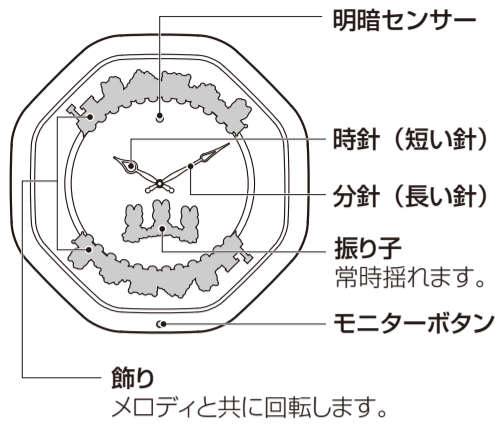
- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

各部の名称と役割

●図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



〈裏ぶたの取り扱い〉

取り外す

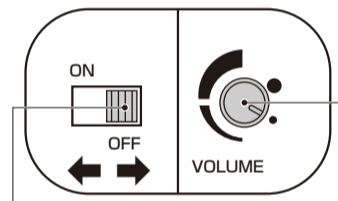
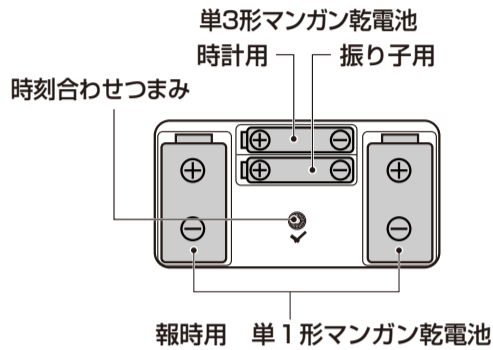
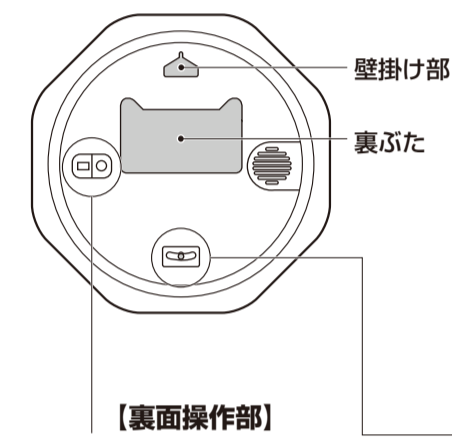
裏ぶたは引っ張って取り外します。

取り付ける

図のように裏ぶたを載せて押し込んでください。



(裏面)



報時スイッチ ON : 報時する OFF : 報時しない
ボリュームつまみ C : 大きくなる G : 小さくなる



振り子押さえを取る

ご使用の際は、必ず取り外してください。取り外さないで電池寿命が短くなります。

振り子押さえは輸送するときの振動や衝撃から保護するものです。輸送の際は、振り子押さえを差し込んでください。

明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合は報時を停止させます。昼間や夜間の照明時でも、明るさが不足するとセンサーが動きます。

⚠ 注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをご守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

※報時用の電池は、大きな音量でご使用になると1年未満で電池の交換が必要になります。大きい音でご使用になるときは、アルカリ乾電池の使用をお勧めいたします。



ご使用方法

① ボリュームつまみを左に回して音量を最小にする

操作をしているときにメロディが大きな音で鳴らないようにします。

② 裏ぶたを引っ張って取り外す

③ 電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れる

電池の⊕⊖を逆に入れると、電池からの液もれ、発熱、破裂の原因となります。

④ 時刻合わせつまみを回して針を正しい時刻に合わせる

⑤ 裏ぶたを押し込んで取り付ける

⑥ 振り子押さえを取る

⑦ 報時機能を設定する

報時は、毎正時にメロディを1曲奏でます。メロディと共に飾りが文字板の周りを回転します。

○メロディは12曲収録されており、毎正時に曲が切り替わります

○曲名は時計裏面に表示してあります。

○時刻ごとにメロディは固定されていません。

報時スイッチの設定

ON : 毎正時にメロディを1曲奏でます。

OFF : 報時しません。

※報時スイッチをONに設定しても、明暗センサーにより暗くなると自動的に報時をしなくなります。 **明暗センサーのはたらき** 参照。

ボリュームつまみを回してメロディの音量を調節する

モニターボタンを押すとメロディが鳴りますので、その間にボリュームつまみを回して調節してください。

メロディの試聴 (モニターボタン)

モニターボタンを押すとメロディを1曲奏で、メロディと共に飾りが文字板の周りを回転します。

メロディが鳴っているときにモニターボタンを押すと次の曲に切り替わります。

※次の正時には、曲順が1つ進みます。

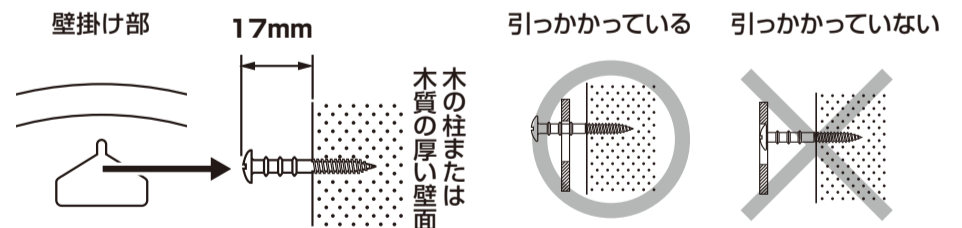
⑧ 時計を掛ける

⚠ 注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

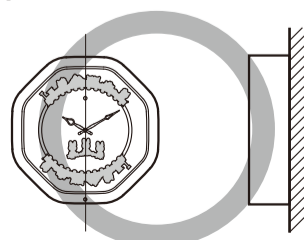


その他の壁面の場合

- 石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

■振り子付きの時計は、垂直に掛けないと振り子が止まる場合があります。

良い例



悪い例

